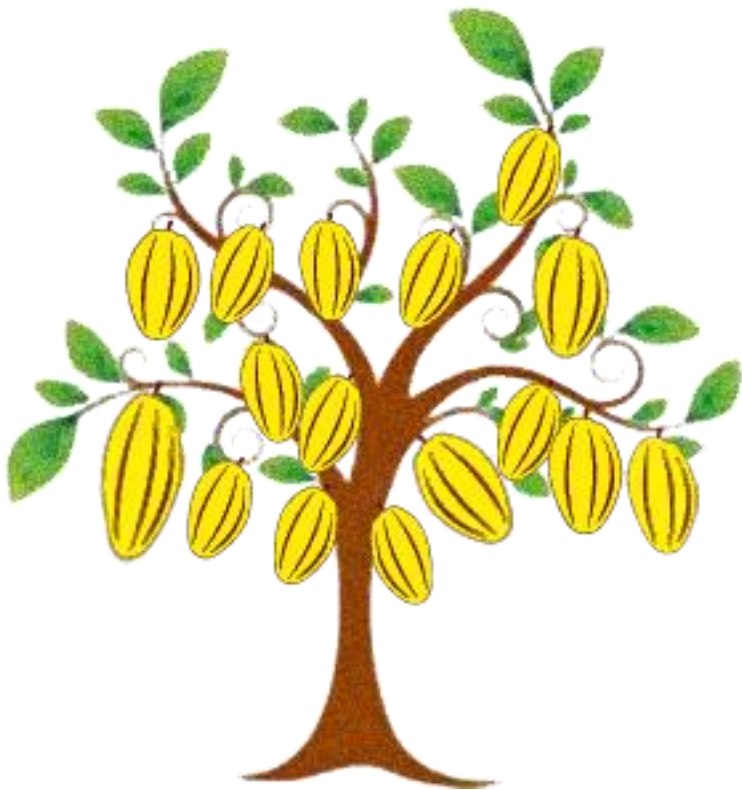


世界におけるエクアドル産 カカオ豆の差別化

発表者：フランシスコ・ミランダ（エンジニア）

2021年4月13日

歴史的背景




- カカオ栽培化の最初の痕跡はエクアドルのアマゾン流域で発見された。
- 発見された痕跡は5400年以上前のものである。
- 植民者が到来した際、エクアドルの海岸でいわゆる「カカオの群生」を発見した。
- 最初のエクアドル産カカオ豆の輸出は、野生のカカオであった。
- 植民地時代の後、海岸地域において原種の栽培が拡大し、海岸地域のDNAを持つ種と交配した野生種が見つかる。

カカオの群生の発見



A. Casas del Rio de Guayaquil: B. Mata palo: C. Vifahuas: D. Armadillo: E. Arbol del Cacao:
F. Lagarto ó Cayman: G. un Indio pescando con flecha: H. Cañas de Guayaquil: I. Mangles:
L. un Indio que sale á pescar al Mar sobre el palo de Balsa.



主な原種

クリオロ種

「上質な風味」または「高品質」なカカオ豆として知られている。比較的低い木で、他の品種に比べてあまり強くはない。樹冠は丸く、葉は楕円形で小さく、薄緑色でかなり厚い。カカオ豆は一般的に白色。

トリニタリオ種


異なる複数の品種から成る、クリオロ種とフォラステロ種を掛け合わせた交配種で、中間的な性質を持つ。元々はトリニダード島において選抜されていたため、これが名前の由来となっている。カカオ豆の色は様々。トリニタリオ種のカカオは世界の生産量の10%~15%を占める。アメリカ大陸で最も栽培されているカカオの一種と言える。

フォラステロ種

世界の生産量の80%を占める。アマゾン川上流部とその支流に分布しているため、「フォラステロ・アマゾニコ」と呼ばれる。カカオポッドは黄色で、基部に小さなボトルネックがある。カカオ豆は平らで小さく、紫色。しかし、エクアドルにはこの種の木で、カカオ豆が白いものもある。

ナシオナル種

フォラステロ・アメロナード種と似た特徴を持つ。しかし、純粋なナシオナル種の栽培は少ない。最も見られるのは、ナシオナル種およびベネズエラとトリニダードから持ち込まれた原料との自然交配から生まれたもので、ナシオナル種とトリニタリオ種の混合として知られている。



CCN-51種



- 1965年に、オメロ・カストロ・スリタ氏によって作られた交配種。
- 病害や気候に対して、高い抵抗力和耐性を持つ。
- カカオ豆は脂肪分（バター）が豊富で、優れたサイズと重量を持つ。
- 1ヘクタールに対する収量（t）が高いため、現在では、エクアドルで最も栽培されている品種である。これは、生産者とその家計にとって魅力的である。

収穫後の適正農業管理



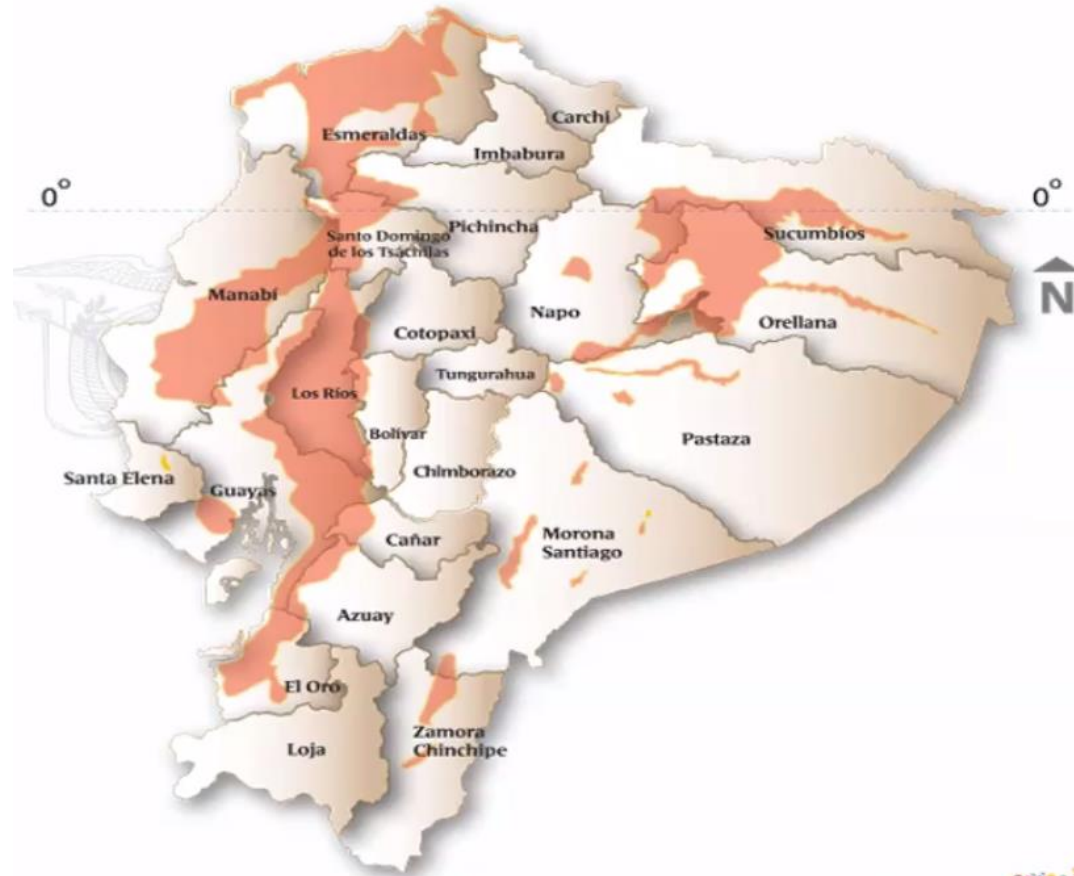
- エクアドルのカカオ分野は収穫後の適正農業管理のパイオニアである。
- 様々な発酵技術を扱っている。
- 伝統的な発酵とムシレージの取り除きの工程はエクアドルで生まれた。
- これらの知識のすべては、世界で唯一の香りと風味のプロファイルを達成するのに役立つ。

カカオ栽培の遺伝的適合性

- エクアドル原産ではない作物が導入されると、動植物はこれらの種に適応しなければならず、多くの場合、生産性のある成長には至らない。
- カカオの場合、再植林と土壌肥料の要素として役立つ。
- 在来種の場合、生態系との適合性は絶対的であり、鳥やリスなどの動物の生息地としても機能する。
- カカオの環境開発は最終決定しておらず、環境と生態系との完璧な適合性モデルはまだ開発中である。



カカオの主な生産地



生産者のためのカカオビジネス



- カカオの生産条件は、他の輸出用製品とは異なり、その生産に多額の投資やビジュアルデザイン管理を必要としない。
- 農薬や肥料の費用は、バナナや花などの他の作物に比べて安い。
- 生産コストは、輸出用トウモロコシやバナナなどの作物の10分の1である。
- 少なくともここ20年間、生産者は、収穫に対して安定した価格を受け取っている。



ビジネス

- エクアドルは、世界で最高の農家出荷価格（farm gate price）を誇る。
- 市場占有率を有する競争相手がいないため、輸出業者の競争条件は非常に明確である。
- カカオは生産地域が驚くほど分散している製品である。これは、国の各地から、エクアドルで唯一のカカオ輸出港であるグアヤキルまで出てきて貨物を集約しなければならないことを意味する。
- 仲介業者と輸出業者との間の競争条件によって、生産者にとってより高く競争力のある価格となる。
- エクアドルの生産者は、1トン当たりの市場価格の91.2%を受け取る。

エクアドル幹線道路図

メリット

- エクアドルの主要道路と接続道路はグアヤキルで終点を迎える。
- カカオ生産地とのビジネスは、港から常に24時間以内の距離にある。
- このアプローチは、農民が輸出業者に近づくほど、より良い価格を得ることができることを意味する。



デメリット

カカオは盗難や紛失の影響を非常に受けやすい製品である。組織犯罪において非常に好まれている。

結論



- エクアドルのカカオは環境適応性がある。環境への影響は少ない。
- 生産者にとって重要な収入源であり、貧困から抜け出すのに役立つ。

結論



- エクアドルにおいてカカオは窮乏を生み出さず、誰にとっても義務ではない。
- 環境への悪影響がなく、児童労働や奴隷制のない農作物である。
- 従事している者は、世界でも最高のカカオを有することを自信と誇りを持って世界中に伝える。